令和2年度 課の運営方針書

都市整備部　公共交通対策課

1　課の運営方針

【課の使命】
鉄道や路線バス、離島航路など市民の日常生活における移動を持続的に支えることのできる効率的で利便性の高い公共交通ネットワークの構築を図ります。

【課の目標】
生活交通の確保・維持を図り、市民が利用しやすい公共交通体系づくりに取り組みます。

① 公共交通ネットワーク形成事業
持続可能で市民が利用しやすい公共交通ネットワークの構築を図るため、現在の交通課題を整理し交通のマスタープランである「周南市地域公共交通網形成計画」の見直し検討を行います。また、バス利用者の減少や運転士不足などを要因に増加している交通不便地区に対応する新たな制度の検討を進めます。

② コミュニティ交通運行事業
中山間地域等の移動手段を確保するため、コミュニティ交通の導入や維持を図ります。

③ 交通結節点整備事業
鉄道をはじめ複数の交通手段をつなぐ交通結節点の環境改善を行い、公共交通利用者の利便性や快適性の向上を図ります。

④ 駐車場・駐輪場管理業務
鉄道を利用する通勤、通学者等の利便性を図り、快適な乗継環境を維持するため駐車場や駐輪場の適切な管理を行います。

⑤ 路外駐車場管理事業
周辺の円滑な道路交通を確保や市街地における賑わいや交流の場の創出に寄与するために、徳山駅前駐車場や徳山駅西駐車場などの路外駐車場の適切な管理運営を行います。

【働き方改革による業務改善等の取組み】
ノー残業デーを奨励し長時間労働を抑止するとともに、各担当業務の進捗状況を課内で共有し納期を意識した業務遂行を推進することで、残業代等人件費の削減に努めます。

2　担当（係）の使命（果たす役割）

（公共交通対担当）
鉄道や路線バス、離島航路など市民の日常生活における移動を持続的に支えることのできる効率的で利便性の高い公共交通ネットワークの構築を図ります。

3　課の経営資源

（1）課の体制

職員数	7 人	うち	正職員	7 人	・	会計年度任用職員	0 人

人件費	正職員	51,408 千円	会計年度任用職員	0 千円
	※H30職員平均給与（ 7,344 千円）ベース			※予算計上額

（2）事業規模

歳入予算額	252,624 千円	歳出予算額	413,906 千円	（正職員人件費を除く）	担当予算事業数	13 事業

４　課の中期目標（優先順）　第2次周南市まちづくり総合計画・後期基本計画に掲げられた基本施策を実現するための推進施策

目標	推進施策	実現したい成果　（最終目標）
1	７　生活基盤 １　交通網の充実 ４　公共交通の確保・充実	◆コンパクトなまちづくりと連携した公共交通ネットワークの構築に取り組み、将来にわたって持続可能で利便性の高い公共交通の実現を図ります。
2	７　生活基盤 １　交通網の充実 ５　交通結節点の環境整備	◆公共交通利用者の利便性や快適性の向上を図るため鉄道駅等の主要な交通結節点の一体的な整備に取り組み、誰もが利用しやすい環境の実現を図ります。
3	７　生活基盤 １　交通網の充実 ６　駐車場・駐輪場の管理	◆鉄道駅に近接する市営駐車場や市営駐輪場の適正な維持管理により長寿命化を図るとともに、路外駐車場事業の健全な運営を行います。